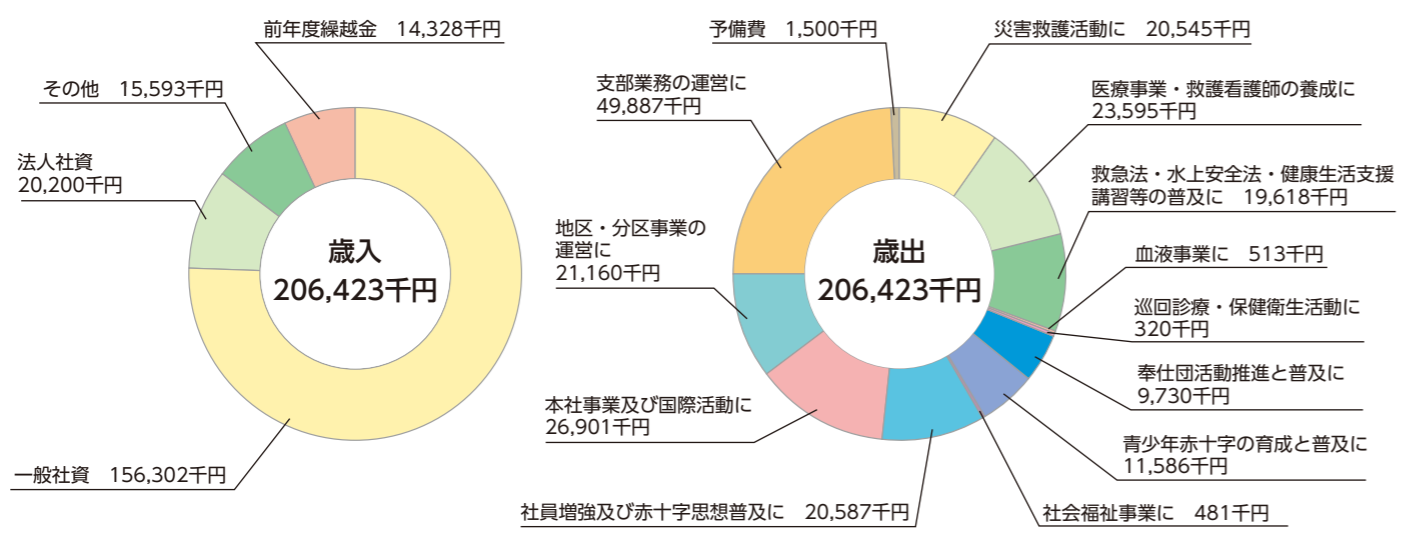


## 平成25年度 日本赤十字社島根県支部 収支予算



※歳入における『社資』とは、日頃より資金協力をさせていただく赤十字社員の皆さまからの『社費(=会費1世帯年額700円以上)』と個別にお寄せいただく『寄付金』の総称をいいます。  
 ※一般社資収入及び法人社資収入には、益田赤十字病院新病院建設に係る『寄付金』が含まれています。  
 ※赤十字病院、血液センター、乳児院は施設毎の会計になっており上記予算には含まれません。表中の「血液事業」、「医療事業」、「社会福祉事業」には、献血思想普及活動、赤十字病院で行う救護看護師養成事業、子育て支援事業等にかかる経費を計上しています。

## 赤十字へのご支援ありがとうございます

### 有功章受章者の皆さま

- 日本赤十字社長感謝状  
 [法人・団体] (株)山陰合同銀行(松江市) 浜田マルキ(株)(浜田市)  
 [個人] 若槻 広行(松江市)
- 日本赤十字社銀色有功章  
 [個人] 稲塚 公郎(松江市)

日本赤十字社島根県支部の活動資金に対するご寄付により表彰を受章された皆さま、また活動資金として多額のご寄付をいただいた皆さまを紹介いたします。  
 (順不同・敬称略)  
 ※紙面の都合上すべての方々をご紹介出来かねることをご了承ください。編集の都合上、平成24年9月1日～平成25年2月28日の間に寄付された前号未掲載の方で、掲載にご了承いただいた方々です。

### 表彰制度について

日本赤十字社では活動資金に対するご寄付や活動においてご功労のあった皆さまに、有功章や感謝状等をお贈りしております。



### ご寄付をいただいた皆さま

- [法人・団体] 松江土建(株)(松江市) 福間商事(株)(出雲市)  
 秀蕊気光研究会(益田市)
- [個人] 稲塚公郎(松江市) 高木義晴(松江市)  
 岡田 浩(松江市) 川村敏美(大田市)

## 国内義援金・海外救援金の受付状況

国内義援金は被災した都道府県の義援金配分委員会を通じて被災者に届けられ、海外救援金は国際赤十字を通じて被災者の救援活動に役立てられます。[支部受付分]

**【国内義援金】**

平成24年鹿児島県奄美地方台風災害義援金	7件	115,854円
平成24年8月京都府南部豪雨災害義援金	5件	122,759円
年末義援金(県内の児童福祉施設への募金)	25件	737,318円

(東日本大震災義援金の受付状況は下記に掲載しています。)

**【海外救援金】**

シリア人道危機救援金等	5件	14,910円
昭憲皇太后基金創設100周年記念特別募金	118件	252,752円
(開発途上国の保健衛生事業や災害対策事業等のための基金)		
NHK海外たすけあい	378件	1,490,765円
(世界各地の紛争や自然災害などに苦しむ人々のための募金)		

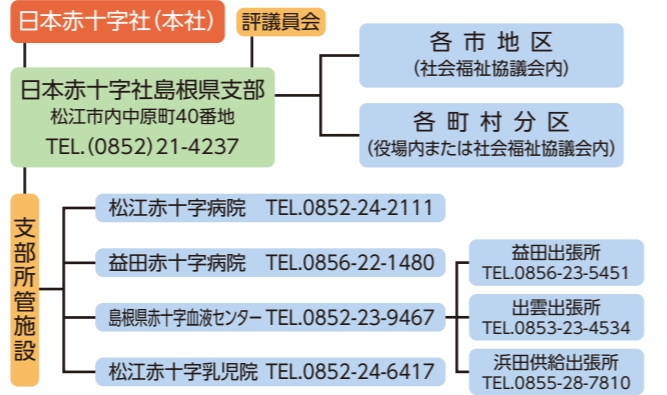
## ご報告 東日本大震災義援金受付状況

義援金をお寄せいただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。お寄せいただきました義援金は、金額、被災都道府県・市町村を通じて被災された方々にお届けしています。

日本赤十字社(全国)受付状況(平成25年2月28日現在)  
 290万4,028件 3,242億3,814万978円  
 (内、島根県支部扱いは15,817件 16億529万4,719円)

**平成26年3月31日まで 義援金の受付期間を延長いたします。**  
 今もなお、31万5千人の方が避難生活を余儀なくされています。引き続き、皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 赤十字の組織と各施設



県民の皆様には、日頃から赤十字活動に対しまして温かいご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。  
 東日本大震災の発生から2年が経過しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、今もなお不自由な暮らしを余儀なくされている被災者の方々に、改めてお見舞い申し上げます。  
 さて、日本赤十字社は、こうした東日本大震災など災害時の救護活動や復興支援活動をはじめ、救命手当・応急手当等を普及する講習会の開催、青少年赤十字活動の促進など、「人間の命と健康、尊厳を守る」をスローガンに様々な活動を行っています。  
 こうした赤十字の活動は、公平・中立・独立の立場を維持するため、皆様からの『社費』と『寄付金』に支えられております。日頃から当支部の活動を支えていただいている県民の皆様には、改めてお礼申し上げます。  
 本年度も皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 平成25年度 支部主催の講習会の開催予定

この他に、学校・町内会などへ出かけての講習も行なっています。年に200回以上を目指しています。お気軽にご相談ください。 お問い合わせ 事業推進課 電話(0852)21-4237

- 救急法 内容：人工呼吸・心臓マッサージ・AED等の救命処置、傷の手当(止血・骨折時の固定)等  
 ○5/18(土)・25(土)・26(日) 会場：日赤島根県支部(松江市) ○8/4(日)・10(土)・11(日) 会場：江津市総合市民センター(江津市)  
 ○9/1(日)・7(土)・8(日) 会場：日赤島根県支部(松江市) ○11/17(日)・23(土)・24(日) 会場：日赤島根県支部(松江市)  
 ○12/1(日)・7(土)・8(日) 会場：益田赤十字病院(益田市)
- 水上安全法 内容：水の事故防止、事故者の救助及び手当等  
 ○プール 6/16(日)・22(土)・29(土) 会場：島根県立水泳プール(松江市)  
 ○海 7/13(土)・14(日) 会場：古浦海水浴場(松江市)
- 健康生活支援講習 内容：高齢期に備えての健康増進、介護予防、家庭での介護の方法等  
 ○6/2(日)・8(土)・9(日) 会場：日赤島根県支部(松江市)  
 ○6/16(日)・22(土)・23(日) 会場：益田市総合福祉センター(益田市)
- 幼児安全法 内容：幼児期におこりやすい事故の予防と対処法、かかりやすい病気と看護等  
 ○6/30(日)・7/6(土)・7(日) 会場：日赤島根県支部(松江市) ○7/20(土)・21(日)・27(日) 会場：益田赤十字病院(益田市)  
 ○9/1(日)・7(土)・8(日) 会場：島根総合福祉専門学校(安来市) 詳細はホームページをご覧ください





# 赤十字の活動は、皆さまからの資金協力により成り立っています。活動資金(社費[年額700円以上]、寄付金)にご協力をお願いします。

## 災害救護

災害発生とともに赤十字は救護班を派遣します



▲赤十字の中四国ブロック合同訓練

大きな災害や事故が発生した際、迅速な救護活動が行えるよう救護班の編成をしています。救護班は、医師・看護師などを中心に編成し、被災地での救護活動を行います。島根県支部では松江赤十字病院に3班、益田赤十字病院に2班を常時編成しています。東日本大震災では15班を派遣しました。25年度においても災害に備え、支部独自の救護訓練や県・市の各種災害訓練への参加などに取り組んでまいります。



毛布・緊急セットなど救援物資の備蓄▶

災害に備え毛布3,000枚、緊急セット(日用品、包帯、携帯ラジオ等)1,400セット、安眠セット(敷マット・アイマスク等)500セットを被災者への救援物資として備蓄しているほか、医療救護用に診療用テントや無線機等の救護資器材を配備しています。

地域の救命率向上に、赤十字は救命手当・応急手当を普及します

## 救急法などの講習

地域(自治会や公民館等)や学校、職場などに出かけての講習(=出前講習といっています)を行っています。一度に100~200人規模の講習も可能です。

講習では、AED(自動体外式除細動器)の使い方や人工呼吸、心臓マッサージ、高齢者支援に役立つ介護技術、子どもの事故の予防と手当、水難事故から身を守る方法などを普及しています。



▲200人が受講した松江高専の様子



▲島根県支部の救急法競技大会の様子

平成25年度も「救急法競技大会」を開催します。この大会では日常生活で安全意識を高めるとともに、事故や災害時に、お互いが助け合い、行動を移すことができることを目指します。1チーム3人編成です。ぜひご参加ください。

(平成25年11月9日(土) 島根県立武道館にて開催予定)

○講習等のお問い合わせ  
日本赤十字社島根県支部 事業推進課  
電話 (0852)21-4237

## 青少年赤十字

学校が進める教育プログラムを赤十字が力強く支援します



▲出雲市立河南中学校の全校集会の様子  
(「ともだちのうた」を全校生徒で合唱)

青少年赤十字は、子どもたちの思いやりの心を育むため、学校と日本赤十字社が一緒になって進める教育事業です。25年度においても「気づき・考え・実行する」という行動目標を柱にした様々な研修や体験プログラムを学校に提供していくほか、海外の青少年赤十字メンバーとの交流事業等を実施し、子どもたちの「思いやりの心」を育む教育をサポートしていきます。

### 青少年赤十字研究指定校 出雲市立河南中学校の取り組み

河南中学校では、東日本大震災で被災した岩手県宮古市にある同名の中学校(宮古市立河南中学校)に、支援金や干羽鶴、お見舞いメッセージを贈る活動に取り組んだほか、歌で勇気づけようと、全校生徒で作詞した「ともだちのうた」を贈りました。「ともだちのうた」は両校の卒業式で歌われるなど交流が続いています。



▲1年生の稲作体験学習で収穫した餅米で作ったお餅を販売して、宮古市立河南中学校への支援金を募り届けました。

『ともだちのうた』  
離れていても 離れていても  
君のことを 想っているから  
どんな時も どんな時も  
君の明日を 想っているから  
君の喜びや はりさけそうな悲しみを  
近くに感じていたい 一つの空の下  
だから君に歌うよ 声の限り歌うよ  
君のからだに力が 沸きたつように  
いつも一つの言葉で ずっとつながっているよ  
遠い君に届けたい このともだちのうた

皆さまの命と健康を守るため、赤十字は病院等を運営しています

## 県内の赤十字施設

### 医療事業

県の東部に松江赤十字病院、西部に益田赤十字病院を運営しています。一般的な診療のほか、災害時には救護班を派遣し災害救護活動も行います。

医師・看護師不足が深刻ですが、地域医療を守るため頑張っています。皆さまには医療機関の機能分担の観点から「かかりつけ医をもつ」ことにご協力をお願いいたします。



▲益田赤十字病院 新病院完成予想図



▲献血バス内での献血の様子

### 血液事業・社会福祉事業

島根県赤十字血液センターでは、病気やケガで輸血を必要とする方々の命と健康を守るため、皆さまに献血のご協力をお願いしています。

また、社会福祉事業として、松江赤十字乳児院を運営し、乳幼児福祉の向上に努めています。

この他にも「国際救援活動」、「赤十字災害ボランティアの育成」を行っています。